

# Nutrition Support Times

## NST加算について

今年度より、NST 加算が創設されました。これは、NST で患者さんをカンファレンスにかけ、かつ回診すると 1 患者あたり週に 200 点いただけるというものです。ただ、どの病院でもとれるわけではなく、以下の条件があります。特定の講習(10 時間)を受けた医師がいること、また特定の講習(40 時間)を受けた看護師、管理栄養士、薬剤師が在籍し、カンファレンス、回診に出席すること。これらの職種のうち、一人は専従、ほかは専任である必要があります。

当院には TNT もしくは NST 医師セミナーをうけた医師は相当数在籍し、また NST 専門療法士をもっているナースは二人、管理栄養士は 3 人、そして薬剤師も 2 人おられます。また、今回の条件からは漏れましたが、臨床検査技師も 2 人専門療法士資格を持っております。専門療法士をもっていると、今回の申請条件は、確実に満たします。

## 嚥下障害への取り組み

3 月 25 日、誤嚥性肺炎についてというテーマで呼吸器内科の立川先生にご講演いただきました。司会はチアマンの東別府先生が多忙のため、アシスタントディレクターである外科の小林先生が務めてくださいました。今回の講演会は患者さんを中心と考えるチーム医療、特に NST にとっても有益なものであったと思います。立川先生が呼吸器内科として率直なご意見を提示してください、質疑応答も大いに盛り上がり、外科の立場からの小林先生も含め、NST 嚥下チームとの考え方の違いを公の場で話もでき、とても有意義でありました。みんなが患者さんに最適な治療を考える結果起こることであり、今後話し合って検討をしていけば患者さんにとってよりよい形で貢献できるのではないかと考えます。因みに、嚥

これほどの NST 専門療法士を要する病院は、近隣では一つだけで、加算を申請できる病院はわずかです。当 NST スタッフの高いモチベーションと NST 専門療法士に合格したその努力と能力を私は誇りに思っています。なお、当院の NST 専門療法士は各職種合わせて 9 名いらっしゃいます。

この、低い点数とはいえ国が NST 加算を設けたのもちょうど良い機会です。NST 専門療法士をもっていない皆さん、我々と一緒に勉強し、セミナーに出て、JSPEN 本大会(次回は名古屋です)にも出席して、NST 専門療法士を目指しましょう。詳しい受験資格は以下の通りです。

当院は NST 専門療法士の教育認定施設ですので、当院に勤めておられる方々は当院で行うスタッフ勉強会に参加していただき、また NST カンファレンスにも規定の時間参加していただければ、他院に見学をしに行く必要はありません。

当然費用もかかりません。(他院に見学しに行って受験資格を得るにはそれなりの金額がかかります)

また、今年の 6 月の最後の週に、NST 専門療法士受験のために、1 週間 他院より 実習生が来られます。当院は NST 教育認定施設となっております。実際の受け入れは今回が初めてですので、なにかと皆さんにご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒よろしくお願ひします。

しかし、今後ともに院内の栄養療法を発展させていくために、NCM 講演会、スタッフ勉強会を充実させていくこうと考えています。また、プロトコールを作成し、経腸栄養の選び方、進め方、下痢の際の対応なども標準化していくこうと考えています。今年度もよろしくお願ひいたします。



### NCM 講演会予定(第4木曜日)

月日	内容	担当
5/27	超基本	東別府先生
6/24	未定	未定
7/22	未定	未定

#### NST カンファレンス・回診

毎週水曜日 PM 1:00 ~ 8 北 (861)

NST カンファレンスルーム

下障害患者の栄養状態はよくないこと、それらの根底には栄養投与が十分でないことは知られていることです。嚥下訓練をしていく上でも栄養は必要不可欠なものであります。嚥下と栄養についても理解を深め、患者さんの予後改善に尽力していきたいものです。新たなニュースとして、転勤された歯科口腔外科西田先生の代わりに、NST 嚥下チームの回診に呼吸器内科の先生方が参加してくださることになりました。新しいメンバーでさらにパワーアップしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。